

科目名称	柔道整復総合演習
授業コード	AF414
英語名称	Advanced Seminar in Judo-therapy 2
学期	2024年度通年（前・後）
単位	2.0
担当教員	市毛 雅之, 市ヶ谷 武生, 杉浦 加奈子, 舟喜 晶子, 富田 圭佑, 鎌塚 正志
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	これまでに学習した柔道整復理論における柔道整復学的な戦略（評価・鑑別診断・施術法・適応と禁忌）について学生自らが課題を設定して調査し、発表する。自主的学習を中心に、これらの基礎的および臨床的な見地から理解する。さらに基礎医学系・臨床医学系科目と柔道整復術の適応と禁忌について学ぶ。
科目に関連する実務経験と授業への活用	担当教員（柔道整復業務に精通し、臨床経験を有する）により、基礎医学から臨床医学ならびに柔道整復学を総合的に教授すると共に問題解決能力を身に付けるよう指導する。 長年接骨院で患者をみている柔道整復師がその経験を活かし、柔道整復師の適応範囲を明確にし各疾患の施術方法について教授する。
到達目標	カリキュラムポリシーに掲げる、関連科目の連携を重視しながら計画的に実施することで、社会の一員として協調性を持ちながら自主的に活動できるために、柔道整復学的戦略を修得することができる。 具体的には、柔道整復学的な評価、鑑別診断、施術法、適応と禁忌を学び、それらに対する現状の課題の設定やその解決に向けた調査を行い、柔道整復の現状を理解することができる。
計画・内容	<p>習得すべき内容を完全に修学するためには、下記の予習や復習とともに講義・演習を習得すること。</p> <p>以下の項目につき予習を1時間、復習を1時間15分行うことを前提としている。このそれぞれの内容はテキスト内に記載する 予習項目 復習項目を参考に行うこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 柔道整復学と人体解剖学概説 杉浦 国家試験の過去問題を中心に、重要事項を総復習する。 2) 柔道整復学と人体解剖学概説 杉浦 国家試験の過去問題を中心に、重要事項を総復習する。 3) 柔道整復学と内臓：消化器評価 杉浦 国家試験の過去問題を中心に、重要事項を総復習する。 4) 柔道整復学と内臓：消化器評価 杉浦 国家試験の過去問題を中心に、重要事項を総復習する。 5) 柔道整復学と内臓：消化器評価 杉浦 国家試験の過去問題を中心に、重要事項を総復習する。 6) 柔道整復学と内臓系：呼吸器 杉浦 国家試験の過去問題を中心に、大事な箇所を総復習する。 7) 柔道整復学と内臓系：呼吸器 杉浦 国家試験の過去問題を中心に、重要事項を総復習する。 8) 柔道整復学と内臓系：生殖器 市ヶ谷 国家試験の過去問題を中心に、重要事項を総復習する。 9) 柔道整復学と内臓系：生殖器 市ヶ谷 国家試験の過去問題を中心に、重要事項を総復習する。 10) 柔道整復学と運動系：骨 市毛（接骨院勤務40年目で臨床経験を元に講義する） 国家試験の過去問題を中心に、重要事項を総復習する。 11) 柔道整復学と運動系：骨 市毛（接骨院勤務40年目で臨床経験を元に講義する） 国家試験の過去問題を中心に、重要事項を総復習する。

計画・内容	<p>12) 柔道整復学と運動系：骨 市毛（接骨院勤務40年目で臨床経験を元に講義する） 国家試験の過去問題を中心に、重要事項を総復習する。</p> <p>13) 柔道整復学と運動系：骨・筋 舟喜 国家試験の過去問題を中心に、重要事項を総復習する。</p> <p>14) 柔道整復学と運動系：骨・筋 舟喜 国家試験の過去問題を中心に、重要事項を総復習する。</p> <p>15) 柔道整復学と運動系：骨・筋 舟喜 国家試験の過去問題を中心に、重要事項を総復習する。</p> <p>16) 演習問題（柔整・整形） 佐野 国家試験の過去問題を中心に、重要事項を総復習する。</p> <p>17) 演習問題（柔整・整形） 佐野 国家試験の過去問題を中心に、重要事項を総復習する。</p> <p>18) 演習問題（外科） 杉浦 国家試験の過去問題を中心に、重要事項を総復習する。</p> <p>19) 演習問題（外科） 杉浦 国家試験の過去問題を中心に、重要事項を総復習する。</p> <p>20) 演習問題（病理） 富田 国家試験の過去問題を中心に、重要事項を総復習する。</p> <p>21) 演習問題（病理） 富田 国家試験の過去問題を中心に、重要事項を総復習する。</p> <p>22) 演習問題（運動） 舟喜 国家試験の過去問題を中心に、重要事項を総復習する。</p> <p>23) 演習問題（運動） 舟喜 国家試験の過去問題を中心に、重要事項を総復習する。</p> <p>24) 演習問題（柔整・整形） 鎌塚 国家試験の過去問題を中心に、重要事項を総復習する。</p> <p>25) 演習問題（柔整・整形） 鎌塚</p>
授業の進め方	国家試験問題や教科書の内容に沿いながら、補足事項を含めた内容を講義する。
能動的な学びの実施	設定した課題にたいしてグループディスカッションを行い、解決案を導いていく。
授業時間外の学修	<p>予習：国家試験問題や教科書を通読し、重要項目について調べ、疑問点を明らかにしておく（各1時間）</p> <p>復習：授業内容をノートに整理し、理解する（各1.15時間）</p>
教科書・参考書	<p>国家試験問題集（学科設定）</p> <p>柔道整復学・理論編 改訂第6版 南江堂</p> <p>柔道整復学・実技編 改訂第2版 南江堂</p>
成績評価方法と基準	定期試験50% + 授業中の小テスト30% + レポート20%
課題等に対するフィードバック	<p>小テストの答えは返却し授業内で解説を行う。</p> <p>学生発表は、その都度コメントを行う。</p> <p>ノート、レポートはコメントを付与して返却する。</p>

オフィスアワー	CampusSquareを参照
留意事項	私語を慎み、他の学生の迷惑にならないよう授業に臨むこと。 本科目は国家試験にとって必要であるから必ず履修すること。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	授業の進め方 zoomによるオンライン授業と課題学修を組み合わせる。 成績評価方法 zoom授業中課題50%と期末レポート50%で評価する。